

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
東京福祉専門学校	平成元年2月20日	小林 和弘	〒134-0088 東京都江戸川区西葛西5丁目10番32号 (電話) 03-3804-1515																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
学校法人滋慶学園	昭和58年12月23日	浮舟 邦彦	〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6丁目16番2号 (電話) 03-5878-3311																				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																			
教育・社会福祉	社会福祉専門課程	こども保育科	令和元年度認定済み	-																			
学科の目的	児童福祉・幼児教育現場において、多様な子ども・家庭に合わせた支援・指導ができる保育士・幼稚園教諭になる。																						
認定年月日	平成28年2月19日																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
2	年間	単位数 69	30	30	6	0	3																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																		
240	157	0人	11人	30	41人																		
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験においてD評価以上を修了とする (A:90点以上、B:89点から80点、C:79点～70点、D:69点～60点、E: 出席日数不足〔授業時間数の10分の7に満たないもの〕F:59点以下。 実習は施設評価や実習日誌等も踏まえて上記評価をおこなう。																			
長期休み	■学年始: 4月1日 ■夏季: 8月1日～8月31日 ■冬季: 12月21日～1月9日 ■春季: 3月12日～3月31日 ■学年末: 3月31日		卒業・進級条件	必須科目を全て履修																			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任、学部長、カウンセラーとの定期面談の実施		課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和4年度卒業者にに関する令和5年5月1日時点の情報)																			
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和4年度卒業生) 保育園、幼稚園、知的障害児施設、肢体不自由児施設、 重症心身障害児施設、児童養護施設、乳児院、一般企業等 ■就職指導内容 キャリア教育プログラムでの就職講座の実施(全体指導)と並 行して、履歴書や採用面接に向けたサポート(個別支援) ■卒業者数 : 76 人 ■就職希望者数 : 74 人 ■就職者数 : 74 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 97.3 % ■その他 ・未就労者数: 2人		主な学修成果(資格・検定等)※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育士</td> <td>①</td> <td>76人</td> <td>76人</td> </tr> <tr> <td>幼稚園教諭 2種免許</td> <td>①</td> <td>21人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>社会福祉主事任用 資格</td> <td>①</td> <td>21人</td> <td>21人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③の いずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得する もの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	保育士	①	76人	76人	幼稚園教諭 2種免許	①	21人	21人	社会福祉主事任用 資格	①	21人	21人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																				
保育士	①	76人	76人																				
幼稚園教諭 2種免許	①	21人	21人																				
社会福祉主事任用 資格	①	21人	21人																				
中途退学の現状	■中途退学者 7名 令和4年4月1日時点において、在学者170名 令和5年3月31日時点において、在学者 163名(令和4年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 健康上の問題、学校生活への不適合(人間関係)、等 ■中退防止・中退者支援のための取組 学生相談室にカウンセラーを配置し、相談できる体制を構築している。また担任が学生とのコミュニケーションを積極的に図ること、授業出欠状況やモチベーションの 動向、成績等が早期の問題発見を行い、学科職員で共有し対策を図る。		■中退率 4.1%																				
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 兄弟姉妹学費一部免除制度・滋慶学園グループ卒業生入学免除制度 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象																						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																						
当該学科のホームページURL	URL: <a href="http://www.tcw.ac.jp/">http://www.tcw.ac.jp/</a>																						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業との連携については、「児童福祉・幼児教育現場において、多様な子ども・家庭に合わせた支援・指導ができる保育士・幼稚園教諭になる」という養成目的を踏まえて、企業等と直接に連携する科目についてはより良い内容となるように意見交換をする。また、企業等から業界の要望を聴取し、業界が求める人材を育成する視点に基づいてカリキュラムの内容見直しに反映させる。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け  
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は理事会のもとに設置され、理事及び学校長、教務部長、学部長と業界代表によって構成され、学校が編成した教育課程を、業界代表者からの意見や提案を活かせるようにする。委員会は改善意見を学校長に報告し、学校長は報告を活かした教育課程を決定し、委員会へ告知する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年6月30日現在

名前	所属	任期	種別
浅村 都子	臨床育児・保育研究会 委員 練馬区立豊玉保育園	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	①
山本 育子	社会福祉法人こばと 理事長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	③
上野 小夜子	社会福祉法人聖華 町屋保育園 園長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	③
花村 嘉信	株式会社NOTCH 代表取締役 保育士BOOKキャリアアドバイザー	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	②
小林 和弘	東京福祉専門学校 学校長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	
白井 孝子	東京福祉専門学校 副校長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	
松川 勝吉	東京福祉専門学校 事務局長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	
菊池 紀子	東京福祉専門学校 事務局次長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	
西田 茂男	東京福祉専門学校 教務部長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	
堀 延之	東京福祉専門学校 教務部長代理	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	
形本 祐子	東京福祉専門学校 事務部長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	
高田 邦之	東京福祉専門学校 こども保育科学科長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、10月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年6月17日(金) 15:00～17:00

第2回 令和4年9月30日(金) 15:00～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

●現場の保育の内容と、実習生が学校で学んでいることや実習中に取り組もうとしている内容が合っているか？

保育は形からはいるものではない。「こどもになにを育てたいのか」が大切だと感じている。設定保育にはこだわらない。こどもが主役となる保育をすることはどの年代でも変わらない。保育園にはいつたとき保育の環境をみる。細やかな配慮が感じられるといい。園のやり方に柔軟に対応できる学生指導が大切。

→ 実習前教育の内容の見直しを行った。

・4月の開講前に実習前教育を新たに設定。実習の目標設定を行い「なぜ、何のために、何をやるのか？」を考えて設定する機会とした。

・実習と実習の間に1週間の通常授業期間を設け、実習で感じたことや自身の課題を明確にして次の実習に向けて準備をする期間とした。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

保育士・幼稚園教諭養成のために不可欠な保育実習において、実習の到達目標と指導内容を事前に企業等と学校で相互理解を図る。これを基に学内にて実習開始前と終了後の実習指導において学生に教育を実施する。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

保育士養成のために不可欠な保育実習（保育実習Ⅰ（保育所）（施設）・保育実習Ⅱ・保育実習Ⅲ）において、実習の到達目標と指導内容について、事前に企業等と学校で相互理解を図る。これを基に、学内で実習開始前と実習終了後の事前事後教育を実施するとともに、実際の現場実習では巡回指導を中心として、企業等と連携を図り学生指導を行う。これにより、企業等の現場を理解し、実践力の高い保育士を養成していく。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
保育実習Ⅰ（施設）	児童福祉施設にて所定の日数の実習を行い、現場を理解するとともに実践力等を身につける。	大田区立コスモス苑、江戸川区立みんなの家、水元そよかぜ園、サーフサイドセウン茅ヶ崎ファーム、松戸市こども発達支援センター、品川区立かがやき園、日本赤十字社医療センター付属乳児院 等
保育実習Ⅱ	居宅型児童福祉施設及び障がい児通所施設の機能と保育士の職務について学ぶ。	たんぼぼ保育園、宮前平もりのこ保育園、みつえ保育園、西葛西おひさま保育園 など 計51企業
保育実習Ⅲ	児童厚生施設または児童発達支援センターその他社会福祉関係諸法規に基づき設置されている施設の機能と保育士の職務について学ぶ。	江戸川区立福祉作業所、児童養護施設ほうゆう・キッズホーム、ケアセンターつばきえぼっく、千葉市大宮学園たけのこルーム、星美ホーム 等 計29施設
幼稚園教育実習Ⅰ	幼稚園の生活内容の概要を知り、どのような活動がどのような方法で行われているか積極的に学ぶ。	志のぶ幼稚園、清和幼稚園、青葉幼稚園、浦安幼稚園、清新めぐみ幼稚園 など 計25園
幼稚園教育実習Ⅱ	前回の実習を基礎として、部分実習や責任実習を行ったり、家庭との連携の内容や方法を理解する。	諏訪幼稚園、水元八千代幼稚園、篠崎若葉幼稚園、葛西めぐみ幼稚園、浦安幼稚園 など 計21園

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員研修規定により、授業内容・教育技法の改善、またクラス運営・マネジメント力を含んだ指導力の向上が、授業力の向上につながる研修を行うことを目的とする。さらに協会、職能団体が主催する研修や学会などの研修にも参加を促している。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名 こどもたちへ繋ぐ自然と文化、そして命【オンライン研修】(全国保育協議会)

開催日 令和4年8月25日(木)・26日(金)

対象 こども保育科専任教員

場所 オンラインにて

内容 保育に関するさまざまな分野の講師による特別セミナー

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「教職員カウンセリング研修1次研修」(連携企業等：滋慶教育科学研究所)【オンライン形式】

期間 2022年8月1日(火)～ 対象：東京福祉専門学校 専任教員

内容：専門学校教育の向上を目指した授業力向上や学生指導に不可欠なカウンセリングについて学ぶ。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名 実習指導者認定講習と保育実習指導の実際について

開催日 令和5年9月2日(土)、3日(日)

対象 こども保育科専任教員

場所 対面、オンライン

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「教職員カウンセリング研修2次研修」(連携企業等：滋慶教育科学研究所)【オンライン形式】

期間 2023年9月26日～ 対象：東京福祉専門学校 専任教員

内容：専門学校教育の向上を目指した授業力向上や学生指導に不可欠なカウンセリングについて学ぶ。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

評価委員会は、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営の理解促進や連携協力による学校運営の改善を目的とし、自己点検・評価の結果は学校法人滋慶学園情報公開規定に基づき学校内外に開示するものとする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標・育成人材像
(2)学校運営	運営方針・事業計画・運営組織・人事・給与制度・意思決定システム
(3)教育活動	目標設定・教育方法・評価等・成績評価・単位認定など・資格・免許取得の指導体制
(4)学修成果	就職率・資格・免許の取得率・卒業生の社会的評価
(5)学生支援	就職等進路・中途退学への対応・学生相談・学生生活・保護者との連携・卒業生・社会人
(6)教育環境	施設・設備等・学外実習・インターンシップ等・防災・安全管理
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動・入学選考・学納金
(8)財務	財務基盤・予算・収支計画・監査・財務情報の公開
(9)法令等の遵守	関係法令・設置基準等の遵守・個人情報保護・学校評価・教育情報の公開
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献・ボランティア活動
(11)国際交流	国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

●新しい試みも多いと思いますので行ったことの振り返りを重視していただけると成果がより見えやすくなるように思う。学科で新しく取り組むことに対しては学部会議などで共有し、振り返りや改善点などを確認している。学生においては実習前後教育の強化を図り、振り返りをきちんと行い学生同士で共有することで学びを深めている。

●やりがいのある学生生活やモチベーションを維持していくことが難しい状況下である、選択必修を6科目設置していることに加えて、こども教室を選択制にし変更。学生自身が科目を選択して、得意なことややりたいことを伸ばせるようにカリキュラム変更した。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年6月30日現在

名前	所属	任期	種別
西田 憲司	社会福祉法人協和会 特別養護老人ホームきく 事務長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	本校卒業生
高部 英彦	私立正則学園高等学校 事務局長・入試本部長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	高等学校教員
赤羽根 智英子	清新町都営住宅くすのきクラブ連合会 会長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	地域関係者
池田めぐみ	社会福祉法人東京栄和会 特別養護老人ホームなぎさ楽苑 苑長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	介護分野 企業等委員
皆川 隆太	就労移行支援事業所natura 施設長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	社会福祉分野 企業等委員
若松 弘樹	児童養護施設 聖友学園 施設長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	保育分野 企業等委員
澳津 優子	こども保育科1年 保護者	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	在校生保護者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) ( )

URL:http://www.tcw.ac.jp

公表時期:令和5年6月30日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学生・保護者・卒業生・地域住民・福祉業界関係者など、学校と関係者の理解を深め、連携・協力するとともに、教育活動やその他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	・学校の沿革 ・学校長挨拶・教育目標・教育システム
(2) 各学科等の教育	・設置学科(修業年限、入学定員、養成目的) ・教育目標 ・教育システム・取得目標資格 ・卒業後の進路
(3) 教職員	・教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	・キャリア教育の取り組み・就職サポート
(5) 様々な教育活動・教育環境	・教育関連イベント・学校設備状況・特色のある教育活動
(6) 学生の生活支援	・学生相談室 ・学生サービスセンター・留学生
(7) 学生納付金・修学支援	・授業及び他経費・学費サポートシステム
(8) 学校の財務	・監査報告書・貸借対照表・収支計算書
(9) 学校評価	・学校関係者評価委員会報告書・自己点検・自己評価
(10) 国際連携の状況	・海外研修
(11) その他	・その他の学校の取り組み

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) )

URL:<http://www.tcw.ac.jp>

## 授業科目等の概要

(社会福祉専門課程 こども保育科) 2023年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			情報機器入門	保育・幼児教育において必要なITリテラシーやOSなどの基本操作・ICT活用のための知識・スキルを学ぶ。	1 年前 期	15	1	○			○		○		
○			文章表現	保育現場で必要とされる文章表現を学び、確かな国語力を身につけるとともに、社会人としての教養を伸ばす。	1 年前 期	15	1	○			○		○		
○			キャリア教育プログラムⅠ	保育士を目指す学生一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す。	1 年 通 年	60	2		○		○		○		
○			健康スポーツⅠ	運動がこどもに与える影響や意義を理解し、説明ができるようになる。	1 年前 期	30	1			○	○		○		
○			健康スポーツⅡ	こどもと一緒にできる運動やルールのある遊びを、保育者の配慮も踏まえて企画立案できるようになる。	1 年前 期	15	1	○			○		○		
○			英会話	国際教育の理念に基づき、簡単な英語遊びを園児たちとできるようにする。	1 年 通 年	60	2		○		○		○		
○			保育原理	保育の意義について理解する。保育の内容と方法の基本について理解する。	1 年前 期	30	2	○			○		○		
○			教育原理	教育の意義、目的及び児童福祉等とのかわりについて学び、教育制度の変遷を記述できるようになる。	1 年 後 期	30	2	○			○		○		
○			社会的養護Ⅰ	児童福祉施設や里親制度など、児童福祉をとりまく環境やそれに伴う養護のあり方を学ぶ。	1 年 後 期	30	2	○			○		○	○	
○			保育者論	保育者とは何かを理解する。また、保育者の役割を理解した上でその実践への展開を図る。	1 年前 期	30	2	○			○		○		
○			保育の心理学	子どもの発達にかかわる心理学的基礎を学び、子どもの発達段階における心理的な成長を理解する。	1 年前 期	30	2	○			○		○		
○			保育の計画と評価	保育内容に関連する保育の計画及び評価について理解し、全体的な計画と指導計画の作成について理解する。	1 年 後 期	30	2	○			○		○		
○			保育内容総論	保育所保育指針に基づく保育の基本及び保育内容の理解をし、保育の多様な展開について学ぶ。	1 年 後 期	30	1		○		○		○		
○			保育内容Ⅰ	発達段階に応じた絵画造形の基礎と保育内容の方法を学び、創作活動を適切に指導する指導力と場面に応じて行える技術を身に付ける。	1 年前 期	60	2		○		○		○		
○			保育内容Ⅱ	発達段階に応じた絵画造形の基礎と保育内容の方法を学び、創作活動を適切に指導する指導力と場面に応じて行える技術を身に付ける。	1 年 後 期	90	3		○		○		○		
○			保育内容の理解と方法(造形)	子どもの発達と造形表現に関する知識と技術を習得し、教材等の活用や作成、保育環境構成を学ぶ。	1 年前 期	30	1		○		○		○		

## 授業科目等の概要

(社会福祉専門課程 こども保育科) 2023年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			保育実習Ⅰ(保育所)	子どもとの関わりや観察を通して子どもへの理解を深める。保育士の業務内容や職業倫理について学ぶ。	1 年前期	80	2			○	○		○	○	
○			保育実習指導Ⅰ-①	保育実習の意義・目的を理解する。また実習の振り返りを通じて次回の実習に学びをつなげる。	1 年後期	30	1		○		○		○	○	
○			乳児保育Ⅰ	3歳児未満児の発達・発育について学んだことを、実践的に考える。	1 年後期	30	2	○			○		○	○	

## 授業科目等の概要

(社会福祉専門課程 こども保育科) 2023年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			障害児保育Ⅰ	様々な障がいについて理解し、保育における発達の援助・環境構成について学ぶ。	1 年 後 期	30	1		○		○		○	○	
○			実習トレーニング	保育計画・指導案・実習日誌の書き方等、実習に必要な知識と技術を学ぶ。	1 年 前 期	15	1	○			○			○	
○			音楽Ⅰ	音楽基礎となる楽譜、音譜、リズムを学び、主にピアノ技術を学ぶ。	1 年 前 期	30	1			○	○		○	○	
○			音楽Ⅱ	音楽基礎となる楽譜、音譜、リズムを学び、主にピアノ技術を学ぶ。	1 年 後 期	30	1			○	○		○	○	
		○	日本国憲法	社会の最小単位の家族とそれに関する法律を理解しながら、憲法に対する自らのリーガルマインドを養う。	1 年 後 期	30	2	○			○	○		○	
		○	こども教室Ⅰ	乳児期・幼児期における発育・発達に応じた指導技術を実践する。	1 年 前 期	90	3		○		○		○	○	○
		○	こども教室Ⅱ	乳児期・幼児期における発育・発達に応じた指導技術を実践する。	1 年 後 期	90	3		○		○		○	○	○
		○	ノビルバA	興味あるものを選び(アートや音楽)専門的な知識、技術を学んで、その分野の理解を深める。	1 年 通 年	30	1		○		○			○	
		○	ノビルバB	ダンスの基礎から本格的な技術まで学び、興味を深める。その知識、技術を活用して表現の技術を向上させる。	1 年 通 年	120	4		○		○			○	

授業科目等の概要

(社会福祉専門課程 こども保育科) 2023年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			子どもの理解と援助	保育の実践において実態に応じた子ども一人ひとりの心身の発達や学びを把握することの重要性について理解する。	2年前期	30	1		○		○			○	
○			保育内容の理解と方法(身体)	子どもの発達と身体表現に関する知識と技術を習得し、表現方法を身に付ける。	2年前期	30	1		○		○			○	
○			保育内容の理解と方法(音楽)	子どもの経験や様々な表現活動と音楽表現とを結びつける遊びへの展開の技術を習得する。	2年前期	30	1		○		○			○	
○			保育内容の理解と方法(言語)	言葉の発達を理解し、その表現方法を実践を通して学ぶ。	2年後期	30	1		○		○			○	
○			キャリア教育プログラムⅡ	保育士としてのキャリアをスタートさせるに当たってのキャリア形成と卒業後のキャリア開発に向けての意識を育む。	2年通年	30	1		○		○			○	
○			子ども家庭支援論	家庭の意義とその機能について理解し、子育て家庭のニーズに応じた多様な支援体制について学ぶ。	2年前期	30	2		○		○			○	
○			子ども家庭福祉	こども家庭福祉の意義と歴史の変遷や、現状と課題について理解する。	2年前期	30	2		○		○			○	
○			社会福祉	日本の社会福祉制度の中で、児童福祉がの位置づけと子どもの権利について述べる事が出来る。	2年前期	30	2		○		○			○	
○			子ども家庭支援の心理学	家族、家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の視点から理解をする。	2年前期	30	2		○		○			○	
○			子どもの保健	子どもの疾病や適切な対応について理解し、緊急時の対応や安全管理について具体的に学ぶ。	2年前期	30	2		○		○			○	
○			子どもの食と栄養	健康な生活の基本として食生活の意義や栄養に関する基礎知識を学ぶ。	2年通年	60	2		○		○			○	
○			子どもの健康と安全	保育における衛生管理や事故防止、危機管理、災害対策など子どもに対する安全管理について、理解する。	2年前期	30	1		○		○			○	
○			乳児保育Ⅱ	3歳児未満児の発達・保育について学んだことを、実践的に考える。	2年前期	30	1		○		○			○	
○			障害児保育Ⅱ	様々な障がいについて理解し、保育における発達の援助・環境構成について学ぶ。	2年後期	30	1		○		○			○	
○			社会的養護Ⅱ	児童養護のプログラム・処遇の実際を学ぶ。	2年前期	30	1		○		○			○	
○			保育実習Ⅰ(施設)	児童福祉施設及び社会福祉施設の機能と保育士の職務について学ぶ。	2年前期	80	2			○	○	○		○	○

授業科目等の概要

(社会福祉専門課程 こども保育科) 2023年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			保育実習指導 I-②	保育実習の意義・目的を理解する。また実習の振り返りを通じて次回の実習に学びをつなげる。	2年前期	30	1		○		○		○	○	
○			保育実践演習	今まで学んだ知識、技術を基に、実践を通して子どもに対する支援方法を考える	2年後期	30	2		○		○				○
	○		学研保育トレーニングゼミ	学研の教材や保育方法を基に、保育に対する実践の幅を広げる。	2年後期	15	1	○			○				○
	○		知育研究	学研の知育教材について、実際の保育・幼児教育現場での活用を学ぶ。	2年後期	15	1	○			○				○
○			子育て支援	保育士の専門性を背景とし、保護者に対する相談・助言・情報提供、行動見本の提示等の支援を理解する。	2年前期	30	1		○		○			○	○
		○	選択音楽 I	保育者として必要な音楽の技術を学ぶ。	2年前期	30	1				○	○			○
		○	選択音楽 II	保育者として必要な音楽の技術を学ぶ。	2年後期	30	1				○	○			○
	○		保育実習 II	子どもとの関わりや観察を通して子どもへの理解を深める。保育士の業務内容や職業倫理について学ぶ。 ※「保育実習 II」選択者は、「保育実習指導 II」も履修する	2年前期	80	2				○		○		○
	○		保育実習 III	居宅型児童福祉施設及び障がい児通所施設の機能と保育士の職務について学ぶ。 ※Ⅱ、Ⅲいずれかを履修。「保育実習Ⅲ」選択者は、「保育実習指導Ⅲ」も履修する	2年前期	80	2				○		○		○
	○		保育実習指導 II	保育実習の意義・目的を理解する。また実習の振り返りを通じて今後の学びを深める。 ※Ⅱ、Ⅲいずれかを履修。「保育実習指導Ⅱ」選択者は、「保育実習Ⅱ」も履修する	2年前期	30	1				○			○	○
	○		保育実習指導 III	施設実習の意義・目的を理解する。また実習の振り返りを通じて今後の学びを深める。 ※Ⅱ、Ⅲいずれかを履修。「保育実習指導Ⅲ」選択者は、「保育実習Ⅲ」も履修する	2年前期	30	1				○			○	○
	○		愛着と自立	特に児童養護施設や乳児院の子どもやその愛着形成・自立について学ぶことで、将来保育者となった時の支援に活かす。	2年後期	15	1	○			○				○
	○		赤ちゃんと保護者の心理	既習の「乳児保育」の学びを活かして、さらに乳児と保護者の心理面についても理解を深めるとともに、保育者としての支援を学ぶ。	2年後期	15	1	○			○				○
	○		障害児の心理	既習の「障害児保育」の学びを活かし、さらに障害児の心理面の発達への理解を深め、将来保育者となった時の援助やその家庭への支援に活かす。	2年後期	15	1	○			○				○
	○		こどもとおもちゃ工作	児童文化財の保育への展開、子どもの玩具活用、製作活動の実践について学び、将来保育現場で活用できるようになる。	2年後期	15	1	○			○				○
	○		世界の子どもと保育(国内研修)	日本人としてのアイデンティティの確立や価値観や文化の違いを尊重する力を身につけ、将来保育現場における多文化共生保育の考え方を育む。	2年後期	30	1		○		○			○	○

## 授業科目等の概要

(社会福祉専門課程 こども保育科) 2023年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		世界の子どもと保育(海外研修)	日本人としてのアイデンティティの確立や価値観や文化の違いを尊重する力を身につけ、将来保育現場における多文化共生保育の考え方を育む。	2 年後期	30	1	○			○		○		
		○	こども教室Ⅲ	乳児期・幼児期における発育・発達に応じた指導技術を実践する。	2 年前期	90	3	○			○		○	○	○
合計				62科目				2360単位時間(95単位)							

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
必須科目をすべて履修し、各科目においてD評価（60点以上）かつ授業時間数の10分の7以上の出席を要する（実習科目の出席時間数は5分の4とする）。実習以外の科目については前期、後期において各2回評価をおこなう。	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	15週

**(留意事項)**

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。